



3分で読めるカキプロたより

かきのたね

SNS とは「信用の見える化」

2015 年の近畿大学の卒業式で堀江貴文氏が卒業生に対して語った言葉がネットで話題となっている。その内容とは・・・「情報を発信することの大切さ」です。なぜ大切なのでしょう？

「インターネット、そしてスマートフォン、そういったものが社会の仕組みを大きく変えつつあります。まだみなさん気づいてないかもしれないです。みなさんが知らないうちに、世界中のすごい人たち、頭のいい人たちは、どんどん皆さんが知らないうちに、新しい技術を開発して、勝手に世の中を変えていってしまっています。まず、みなさんはその事実に気づいてください！ソーシャルネットワークを使って、世界中の、自分が「面白いな」「この人の話聞いてみたいな」という人たちの情報にすぐに辿りつくことができます。まず、自分で情報を世界中の素晴らしい頭のいい人たち、先を行ってる人たちの情報を触れることができる。これからは、そうやって仕入れた情報を、自分の頭で考え、そして自分で発信して、頭の中を整理して自分で考える癖をつけていかなければいけないです。それはどうやってやるのか？簡単です。インターネットでブログやら、ソーシャルネットワークやら、そこで毎日発信し続ければいい。非常に簡単なことです。」と堀江氏は語った。

自ら発信すれば、人が集まってきます。人が集まれば、更に濃い情報が集まります。発信した情報が多くの人から賛同を得られれば、ツイッターであればフォロワー（ファン）が増え、フェイスブックであれば「いいね！」で評価されます。自分の発信した情報を多くの人に届けるためにも、SNS は有効な媒体であり自分の意見が世間でどう評価されるのか、他人にとって有益なのか無益なのかも瞬時に低コストで分かります。（マーケティングの確認）要するに自分の考えが世間で通用するのかがわかるツールと言えます。また、SNS で接触する回数が増えると好感度は比例して共感と信頼を得ます。これが「**SNS は信用の見える化**」といわれ企業認知度や信頼という点で成果が期待できるでしょう。



SNS は自分を世間に知られたくない人や、すぐ飽きてしまう自己中心的な人、他人に無関心な人は向きません。一方的に発信するだけの人やたまに発信する人も向きません。現代の SNS はリアルな相互通信機器なのです。いろいろな人の SNS を読んでフォロワーになり応援すればやがて応援してくれるようにもなります。2017 年の流行語大賞に「インスタ映え」という言葉が流行ったがあまりにもプライベートな部分を露出してしまったり、ネットで偏見の意見を書くと炎上して後々トラブルになるようだ。そのための「ネット炎上保険」があるくらいなので SNS の投稿は気を付けたいものだ。

● ご相談先

株式会社カキプロ 本社 住宅サポート事業部
札幌市中央区大通西11丁目4大通藤井ビル2F 011-280-6580

株式会社カキプロ 大阪事務所
大阪市北区天満1丁目6-8 六甲天満ビル2F 06-6882-2680

「かきのたね」の名前はカキプロのかきと情報=話しのたねをかけてネーミングしました。お客様が気軽にご相談できる代理店を目指し発行しております。配信不要の場合はメールにてご連絡ください。

発行者 湊 芳行
y-minato@kakipro.jp